

# 第3学年 特別の教科 道徳学習指導案

対象 第3学年1組 児童21名

指導者 松岡 佑樹

対象 第3学年2組 児童22名

指導者 肥爪 萌香

## 1 主題名

「他の国の人となかよくなるために」 [C 国際理解、国際親善] (教材名 「マサラップ」)

## 2 ねらい

外国からきたリサ先生との関わりから、他国の言語や食べ物に興味を抱く「ぼく」の姿などを通して、他国の人と仲良くなるために大切なことを考えさせ、他国のものに親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。

## 3 主題設定の理由

### (1) 児童の実態

外国の文化や伝統に興味をもち、互いに尊重することのできる心情を育てるために、教科等の指導において特に、次のような指導を行ってきた。

#### 特別の教科 道徳「日本のお米、せかいのお米」

他の国で作られたものや、他の国から伝わったことを知るために、世界のお米を使った料理の画像や映像を見て、外国の料理について学習した。児童は外国の文化や伝統に興味をもち、外国についてもっと他のことも知りたいと考えを広げた。

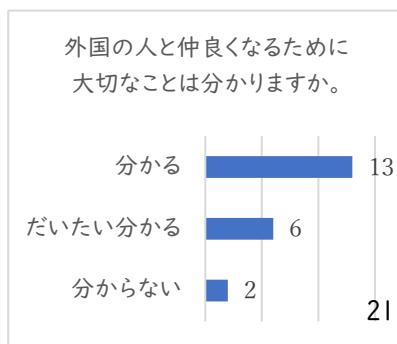
#### 外国語活動「Hello!」

世界の色々な挨拶の仕方を映像で見たり実際にやってみたりすることで、世界には様々な言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しんだ。児童は、相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶をすることができた。

次に示すのは、アンケートの結果から考えられる児童の実態である。

### 3年1組

【外国の伝統や文化についてのアンケート】 (質問紙法により7月14日実施 n=21)



### ～考察～

「外国の食べ物や生活、言葉に興味はありますか。」という質問に対し、20人が肯定的な回答をしている。(ある・だいたいあると答えた合計) 上記の回答から、国際理解・国際親善についての理解を深めることをねらいとする本教材には、多くの児童が意欲的に取り組めるのではないかということが期待できる。また、「外国人の人と仲良くなるために大切なことは分かりますか」という質問には、19人の児童が「分かる=そう思う」など肯定的な回答をしている。(分かる・だいたい分かると答えた合計)

### 3年2組

#### 【外国の文化や伝統についてのアンケート】(質問紙法により7月14日実施 n=22)



### ～考察～

「外国人の人と仲良くなるために大切なことは分かりますか。」という質問に対し、3割以上の児童が「分からない」と回答しているため、リサ先生に自ら関わる「ぼく」の様子を通して、それについての学級全体の理解を深めていく。

また、「外国の食べ物や生活、言葉に興味はありますか。」という質問に対して、3割以上の児童が「そう思わない」と答えているため、導入で外国に関する身近な画像を見せてることで外国に興味をもたせて、学習に取り組めるようにする。

## (2) 教材について

### ア 本題材の学習指導要領の位置付け

本主題について、「学習指導要領解説 特別の教科道徳編」において、中学年では以下のように記されている。他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。

中学年の段階においては、我が国が様々な国々と関わりをもっていることに気付くようになる。児童の様々な生活や学習において、更に関心をもって他国の人々や他国の文化に気付き、郷土や自国の文化と他国の文化との共通点や相違点などにも目を向けられるようになることが大切である。そのために、他国の人々もそれぞれの文化に愛着をもって生活していることを理解させるなどして、更に他国の文化に関心や理解を深めさせ、親しませることができるようにしていく。

## イ 教材と系統性

児童と同じ3年生の「ぼく」が主人公である。「ぼく」は、フィリピンから來たりサ先生との出会いをきっかけに、フィリピンの言葉や料理、服などに興味をもっている。調べたフィリピノ語（※）で思い切ってリサ先生に話しかけると、とても喜んでくれたことで、もっとフィリピンのことを調べて、もっとリサ先生と話してみたくなっている。外国の物に直接関心をもつことも大事だが、人を介することで、理解や親善の気持ちはより高まっていく。人を介して、考え方や心情の交流が生まれ、それが深いところで、国際理解、国際親善への意欲とつながるためである。（※タガログ語のこと。本文中に記載。）

## ～国際理解・国際親善～

- 2年・・・教材名 日本のお米、せかいのお米
- 3年・・・教材名 ふろしき  
教材名 マサラップ（本教材）
- 4年・・・教材名 わたしの大切なものの

## ウ 指導観

本教材で最も考えさせたいことは、「他の国の人と仲よくなるために大切なこと」である。そのために、中心的な発問では笑顔になったリサ先生を見て、「ぼく」が思ったことを考える。外国の文化にふれることを楽しみ、さらなる興味・関心を抱く「ぼく」に共感できるようにする。

### 4 人権教育の視点

外国からきたリサ先生との関わりから、他国の言語や食べ物に興味を抱く「ぼく」の姿などを通して、他国の人と仲良くなるために大切なことを考えさせ、他国の人にも親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。

### 5 研究主題に迫るための手立て

- 自分も相手も大切にする言語能力を育成するために取り入れる言語活動

#### 【考えたことや感じたことを説明できる力】

- ・自分の考えや感じたことを相手に説明することができるようするために、登場人物の行動や心情から、児童がワークシートで自身の考えを整理し書いた後、伝え合う活動を行う。

#### 【相手の考え方や心情をとらえようとする力】

- ・相手の考え方や心情を捉えようとすることができるようするために、話型を提示した上でペア学習を行い、交流を図る。

## 6 本時の指導（1／1）

### （1）本時のねらい

外国から來たりサ先生との関わりから、他国の言語や食べ物に興味を抱く「ぼく」の姿などを通して、他国の人と仲良くなるために大切なことを知り、他国の人々に親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。

### （2）展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	* 人権教育に関わる留意点等	◇評価【評価方法】 ◆研究主題に迫るための手立て
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽田空港や穴守稻荷駅の写真を見て、なぜ外国語の表示があるのかを考える。</li> <li>・他の国から來た人のためではないか。</li> <li>・駅で外国人を見た時、それを見て電車に乗っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 羽田空港や穴守稻荷駅の画像を見て、身近な国際化について考えられるようにする。</li> <li>* 外国の食べ物や生活に興味をもてるように、外国に関する身近な画像を見せる。</li> </ul>	
展開	<p>○教材「マサラップ」を読んで、考え話し合う。</p> <p>1 「ぼく」は、どうしてフィリピン語で「マサラップ」と言いたかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで知って、おもしろいと思った。</li> <li>・フィリピン語(※)で話しかけて、リサ先生をびっくりさせたかった。</li> <li>・リサ先生と仲良くなりたかった。</li> <li>・覚えたばかりのフィリピン語を使ってみたかった。</li> </ul> <p>2 リサ先生はなぜ笑顔になったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン語でいさつしてくれてうれしかったから。</li> <li>・フィリピン語のことを大切にしてくれたと思ったから。</li> </ul> <p>3 他の国のこと、すてきだな、すばらしいなと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぎょうざは中国で生まれた料理と聞いたことがあるよ。</li> <li>・ナイアガラの滝というとても大きくてきれいな滝があるから見てみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* フィリピンと日本では、異なる文化や習慣があることと、「ぼく」がフィリピンの人々や文化に興味をもち始めていることを押さえる。</li> <li>* 「ぼく」がフィリピン語で話しかけた理由を考えることを通して、フィリピンへの興味・関心、リサ先生への思いやり、リサ先生と仲良くなりたい気持ちなど、様々な考えを引き出す。</li> <li>* 他国の文化を尊重する姿勢が、他国の人と仲良くすることにつながることや、他国への興味・関心を高め、もっと理解したいという意欲をもつことの良さを捉えさせる。</li> <li>* 自分が他国のどんなところに興味があるか自覚させる。</li> <li>* 必要に応じて、衣食住や、スポーツ、旅行、自然などの観点を示しながら想起させる。</li> </ul>	<p>◆「ぼく」がどんなことを思っていたのかを、ペア交流をすることで、自分の考えを説明することができるようにする。</p> <p>◇他国の人々や文化に親しむために、どのような気持ちを大切にしようかと考えているか。（発言）</p> <p>◆ペア交流で相手の考え方や心情を捉えられるようにするために、相手を受容する言葉を使う。</p> <p>◇他国の人々や文化に親しみ、他国の伝統や文化を尊重することについて考えているか。（発言・ワークシート）</p>

終末	○他の国の画像を見る。	*他の国の文化がわかる画像(料理や服装)などを見て、他国への親しみが深まるようにする。	
----	-------------	---	--

7 板書計画

○他の国で、すてき、すばらしい、と思つたこと ・ぎょうざは中国で生まれた料理と聞いた。 ・ナイアガラの滝を見てみたい。	○「マサラップ」と言つたかったのは? ○リサ先生はなぜ笑顔になつた? 場面絵 場面絵	他の国の人となかよくなるために大切なことは、何でしよう。 ○「マサラップ」と言つたかったのは? リサ先生をびっくりさせたい。 リサ先生となかよくなりたい おぼえた言葉を使ってみたかった。 フィリピン語でいさつてくれた うれしかつたから。 フィリピン語のことを大事にしてく	マサラップ
---	---	--	-------